

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Roselle Friendship			
○保護者評価実施期間	*現在利用者なし			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～	2025年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日			
○分析結果				
	事業所の強み(※)だと思われること *より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	支援室の室内空間が大きく、室内でスポーツや運動や体操が行える所。元気いっぱい体を動かして、法人の基本支援方針である、運動により多くの酸素を脳に行き渡らせ、脳の活性化を促すことで障害の軽減を図る事に繋がっています。	活動プログラムが固定化しないよう、毎週異なった支援プログラムをスタッフが立案し、活動することにより、固定化しない様工夫しています。		毎日異なる支援プログラムを提供するため、どうしてもマンネリ化してしまったり、以前行ったレクリエーションや支援を行う傾向があるため、新しい刺激や新しい体験ができる様、同法人で行われている様々な支援プログラムを教えてもらい活動していきたい。
2	インクルージョンの観点から、地域社会で暮らすため地域で行われている多様な学習・体験・活動の居場所を享受できるよう、近隣の公園、公共の図書館や児童館、児童センターに積極的に行き、活動している。	毎週一度は、室内活動だけではなく、野外活動の中で、子どもたちを自由にのびのびと遊べる環境を作れるよう、公園や児童センター、図書館などを利用している。その中で、公共でのマナーを学んだり健常児との交流も行っている。		曜日によって野外での活動に参加できない児童がいないよう、色々な曜日や時間に公園や児童センターなどを利用していきたい。
3	地域で活動している運動の講師の方と健常児を定期的にお呼びして、体操や運動、移動や姿勢の訓練を行って、健康な体づくりを目指して活動している。	地域の健常児との交流を含めて、講師をお呼びして活動する事により、活動がマンネリ化せず、色々な遊びや体験ができる様になっている。		地域の活動センターや体育館等をお借りして、運動プログラムを積極的に行っていきたい。
	事業所の弱み(※)だと思われること *事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自立支援協議会への参加がなかなかできていない。	自立支援協議会の情報が少なく、積極的な関わりができていない。		事業所が関わる一つの相談支援センターが市内の自立支援協議会の運営も行っているため、会議や研修情報を積極的にご教授頂き関わってきたい。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けたり、きょうだい同士で交流する機械を設けているが、参加者が限られてしまう。	保護者様の都合を考慮し保護者会を祝日に行うことになっているが、祝日も仕事や予定があって参加できる保護者様が限られてしまう。		保護者会や保護者様同士が交流する機会を増やし、参加できるように十分前もって計画し、楽しい魅力的なイベントを企画していきたい。
3				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Roselle Friendship		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日	～	2025年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 15名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	2025年1月10日	～	2025年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援室の室内空間が大きく、室内でスポーツや運動や体操が行える所。元気いっぱい体を動かして、法人の基本支援方針である、運動により多くの酸素を脳に行き渡らせ、脳の活性化を促すことで障害の軽減を図る事に繋がっています。	活動プログラムが固定化しないよう、毎週異なった支援プログラムをスタッフが立案し、活動することにより、固定化しない様工夫しています。	毎日異なる支援プログラムを提供するため、どうしてもマンネリ化してしまったり、以前行ったレクリエーションや支援を行う傾向があるため、新しい刺激や新しい体験ができる様、同法人で行われている様々な支援プログラムを教えてもらい活動していきたい。
2	インクルージョンの観点から、地域社会で暮らすため地域で行われている多様な学習・体験・活動の居場所を享受できるよう、近隣の公園、公共の図書館や児童館、児童センターに積極的に行き、活動している。	毎週一度は、室内活動だけではなく、野外活動の中で、子どもたちを自由にのびのびと遊べる環境を作れるよう、公園や児童センター、図書館などを利用している。その中で、公共でのマナーを学んだり健常児との交流も行っている。	曜日によって野外での活動に参加できない児童がいないよう、色々な曜日や時間に公園や児童センターなどを利用していきたい。
3	地域で活動している運動の講師の方と健常児を定期的にお呼びして、体操や運動、移動や姿勢の訓練を行って、健康な体づくりを目指して活動している。	地域の健常児との交流を含めて、講師をお呼びして活動する事により、活動がマンネリ化せず、色々な遊びや体験ができる様になっている。	地域の活動センターや体育館等をお借りして、運動プログラムを積極的に行っていきたい。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自立支援協議会への参加がなかなかできていない。	自立支援協議会の情報が少なく、積極的な関わりができていない。	事業所が関わる一つの相談支援センターが市内の自立支援協議会の運営も行っているため、会議や研修情報を積極的にご教授頂き関わっていきたい。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けたり、きょうだい同士で交流する機械を設けているが、参加者が限られてしまう。	保護者様の都合を考慮し保護者会を祝日に行うことになっているが、祝日も仕事や予定があって参加できる保護者様が限られてしまう。	保護者会や保護者様同士が交流する機会を増やし、参加できるように十分前もって計画し、楽しい魅力的なイベントを企画していきたい。
3			